

次世代育成委員会 事業計画

次世代育成委員会 委員長 植竹 文人

I o TやA Iの普及に応じて生活や仕事が効率化されていく中で、新しい元号に移行した日本にてオリンピック・パラリンピックが開催される今年は、我々の精神性について改めて注目を浴びる機会が訪れています。歴史の中で培われた日本人らしい美意識や、地域資源の価値を知り郷土に対する理解を深める体験を通して、多くの市民と手を取り心をつなぎ合わせ、率先して行動できる人財が増えていくよう日々の研鑽に励む必要があります。

まずは、他者を気遣う心を育むために、子供たちを主な対象に交通安全啓蒙を主軸に据えて、先端技術を活用しながら危機察知能力を向上させる第45回ちびっ子広場を開催することで、デジタルネイティブである子供たちに楽しみながらゆずり合う気持ちをもたらします。そして、地域に根ざす歴史を自分の感性で広められる市民を増やすために、水戸市だけでなく市外に住む人々にもかつて日用品として使用していた魅力ある文化財がこのまちには沢山あることを周知し、事業を通して新たに関わりを築いた親子同士が歴史的産物に触れ合いながら当時の暮らしに思いを巡らせることで、初体験となる人々には新鮮な感動をもたらすとともに、家族間で郷土の素晴らしさを再発見し、交流人口の拡大に繋がります。さらに、我々が研鑽を通して地域に求められるような魅力ある人財になるために、自分自身を律し客観視する機会を設け、自分や他者が抱えている雑念に改めて向き合うことで、揺るがない信念や礼節を重んじる心を目覚めさせ、相手が考えていることや思っていることを読み取る能力を磨きながら、周囲をいたわれる対応ができる存在となります。

心と五感に触れる体験が感動を生み、郷土への関心を深め、物事の本質を理解できる力が研鑽を通して養われ、歴史に紐づく教訓と繊細な気遣いを身に付けた人財が地域活性化を促し、交流人口が増えて定住人口の促進に貢献しようという雰囲気がまちに広がります。

<事業計画>

1. 交通安全啓蒙を主軸とした第45回ちびっ子広場の開催
2. 親子で郷土の歴史を学ぶ事業の開催
3. 信念のある心を知るための研鑽事業の開催